

内閣府青年国際交流事業報告書 2020

令和2年度

地域課題対応人材育成事業
「地域コアリーダープログラム」
～外国青年とのディスカッション・オンライン交流～

FY2020 Community Core Leaders Development Program



内閣府

Cabinet Office, Government of Japan

※ 一部（名簿、写真、挨拶者氏名等）の個人情報については
削除してあります。

目次

序.....	2
第1章 事業概要.....	3
グラビア.....	5
第2章 参加青年レポート	
「地域課題対応人材育成事業『地域コアリーダープログラム』	
～外国青年とのディスカッション・オンライン交流～」	
高齢者分野参加青年レポート.....	8
障害者分野参加青年レポート.....	20
青少年分野参加青年レポート.....	32
第3章 資料	
参加青年名簿.....	43
事業評価アンケート.....	45
研修日程等.....	49

序

内閣府では、日本と諸外国の青年の交流により、青年相互の友好と理解を促進するとともに、青年の国際的視野を広げ、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを目的として各種の青年国際交流事業を実施してまいりました。

地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」は、平成14年度（2002年度）に開始した青年社会活動コアリーダー育成プログラムに由来するもので、高齢者関連、障害者関連及び青少年関連の課題解決に向けた取組に携わる日本青年と、各国において同様の課題解決に取り組む青年同士の交流を促し、各分野の課題対応に当たって必要な知識、組織の運営、関係機関等との連携及び人的ネットワークの形成に当たって必要となる実務的な能力向上を目的としています。

しかしながら、令和2年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国を越えた交流が困難となり、当初予定していた事業も残念ながら中止となりました。

その一方で、現代はオンラインの活用により遠く離れた国々の青年同士が瞬時につながることができる時代でもあります。こうした技術も活用し、代替的な国際交流の場、そして新しい試みとしてオンライン交流を実施することとしました。

本プログラムでは、地域における社会活動の中心的な担い手を育成する高齢者、障害者、青少年の各分野で活躍する、日本及びオランダ、ニュージーランド、デンマークの外国青年との交流を通じて、各国の当該分野事情や活動事例などの有益な情報、団体運営に関する考え方や視点を共有し、各地域における社会活動の中心的な担い手を育成することを目的としたオンライン交流を行いました。

さらに、オンライン交流で得られた成果を報告するとともに、これまでの事業参加青年による経験や学びといった自身の成長の共有を行う事業報告会を実施し、より多くの方々に本事業の魅力をお伝えするための広報を行いました。

本プログラムによる交流を通じて、参加者の皆様が交流を深めるとともに、様々なテーマについて大いに議論いただいたことで、参加青年が今後の活動につながる学びを得て、今後の活動において活躍されることを願ってやみません。

また、事業報告会が広く一般の青少年の方々にとって、国際交流への関心を高め、本事業を御理解いただく際の一助となれば幸いです。

本報告書は、今回のオンライン交流で行ったディスカッション等の様々な活動について記録したものです。この報告書を通じ、事業の成果を御理解いただくとともに、今後の一層の御支援をいただければ幸いです。

最後に、本事業の実施にあたり、御協力いただいた関係各位に、心から御礼申し上げます。

令和3年3月
内閣府青年国際交流担当室長
酒田 元洋

事業概要

<目的>

地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」は、多様な個人が能力を発揮しつつ、自立して共に社会に参加し、支え合う「共生社会」を地域において築いていくためには、住民や非営利団体、行政機関等による取組の充実が必要不可欠であるとの認識の下、高齢、障害及び青少年の3分野において、内外の実務者の国際交流を実施することで、各地域で同じ課題に取り組む青年同士の交流を促し、非営利組織の運営、関係機関等との連携及び人的ネットワーク形成に当たって必要となる実務能力の向上を図ることを目的としている。

令和2年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の傾向が収まらず、参加青年の安全を確実に確保することは困難と判断せざるを得ないことから、地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」を含む、令和2年度の内閣府青年国際交流事業はすべて中止としたところである。しかしながら、現代はオンラインの活用により遠く離れた国々の青年同士が瞬時につながることができる時代でもあり、こうしたインターネット技術を活用し、代替的な国際交流の場、そして新しい試みとして本プログラムを開催することとした。

<実施概要>

本事業は、オンラインにて実施した。

(1) 各分野の基本テーマ

- ・高齢者分野：高齢者の自立支援に必要な連携
- ・障害者分野：地域における障害者の社会参画の更なる拡大
- ・青少年分野：子供・若者の育成支援に関わる人材の養成

(2) 参加青年の参加資格及び求める人物像

- ・おおむね23歳から40歳までの者
- ・高齢者関連、障害者関連及び青少年関連の各分野でおおむね3年以上の社会活動経験があり、各分野の非営利団体の運営に現在携わっているか、もしくは将来携わる意欲を有する者
- ・本事業の経験をいかして社会活動を活発に行うことが期待できる者

(3) 交流国・分野・参加青年人数

・日本参加青年

高齢者分野 10名

障害者分野 10名

青少年分野 10名

・外国参加青年

オランダ王国参加青年 高齢者分野 7名

ニュージーランド参加青年 障害者分野 10名

デンマーク王国参加青年 青少年分野 13名

(4) 日程

・オンライン事前研修

① 高齢者分野

➤ 1回目：令和2年12月13日（日）

➤ 2回目：令和2年12月25日（金）

※両日とも13:30～16:30で実施

② 障害者分野

➤ 1回目：令和2年12月15日（火）

➤ 2回目：令和2年12月27日（日）

※両日とも13:30～16:30で実施

③ 青少年分野

➤ 1回目：令和2年12月14日（月）

➤ 2回目：令和2年12月26日（土）

※両日とも13:30～16:30で実施

・外国青年とのオンライン・ディスカッション交流

① 高齢者分野

➤ 1回目：令和3年1月29日（金）

➤ 2回目：令和3年1月30日（土）

➤ 3回目：令和3年2月7日（日）

※全日程において、日本時間17:00～20:00、

オランダ時間9:00～12:00で実施

② 障害者分野

➤ 1回目：令和3年2月12日（金）

➤ 2回目：令和3年2月13日（土）

➤ 3回目：令和3年2月21日（日）

※全日程において、日本時間10:00～13:00、

ニュージーランド時間14:00～17:00で実施

③ 青少年分野

➢ 1回目：令和3年2月5日（金）

➢ 2回目：令和3年2月6日（土）

➢ 3回目：令和3年2月14日（日）

※全日程において、日本時間17:00～20:00、
デンマーク時間 9:00～12:00 で実施

◆ オンライン事後研修

3分野合同で実施：

令和3年2月28日（日）13:30～17:00

◆ オンライン事業報告会

国際社会青年育成事業（オンライン交流）

～Glocal Youth Summit～と合同で実施：

令和3年3月13日（土）10:00～13:00

※プログラム実施：

内閣府との契約により、一般財団法人青少年国際交流
推進センターが実施に当たった。